

黒田龍之助著「ぼくたちの英語」三修社 2009年11月30日刊を読む

ぼくたちの英語

1. 世間が期待する英語

- (1) どうして英語教師なのか
- (2) 英語教師の英語力
- (3) 入試対策の英語
- (4) 「ホンモノの英語」
- (5) ネイティブの英語
- (6) 留学経験者の英語
- (7) 早期から始める英語
- (8) 遊びながら学ぶ英語
- (9) 英語で教える英語
- (10) 親自身が身につけなかった英語
- (11) 国語に道を譲るべき英語
- (12) 実は多くの人が嫌っている英語
- (13) せっかく教師になれたのだから

2. 教室で必要な英語

- (1) 目の前の生徒は
- (2) 好き嫌いは当てにならない
- (3) どうして英語が嫌いなのか？
- (4) 単純な解決策はない
- (5) 三つの「注文」
- (6) 子音だけ発音できるか
- (7) リスニングは耳の問題か
- (8) 難しいのは文法用語ではないか
- (9) 最難関は be 動詞？
- (10) 文法書を一冊
- (11) 一対一対応ではない
- (12) 部分点を目指すな
- (13) まともな日本語に訳せるか
- (14) 公式から外れる融通性
- (15) 自習へのアドバイス
- (16) きっかけは英語

3 . 教師が学習する英語

- (1)英語の勉強に終わりはない
- (2)「フェルセンせい」
- (3)『ねむたい絵本』
- (4)体が覚えているリズム
- (5)忙しい中で勉強する
- (6)何をやっても勉強になる
- (7)書店の巡り方
- (8)朝は英字新聞から始める
- (9)DVD は最高の教材だが...
- (10)カラオケでは英語曲以外禁止
- (11)音読は英語教師の基本
- (12)早口言葉で舌慣らし
- (13)「教養の定番」はどこまで必要か
- (14)せめて一日だけでもヒマな日を

4 . プロ教師のための英語

- (1)プロの道
- (2)すべてを知っている教師はいない
- (3)困ったときには
- (4)マニアックな辞典ほどおもしろい
- (5)英文法のリファレンス
- (6)英語の歴史と方言
- (7)英語の歴史は手軽に読める
- (8)英語の方言の情報は意外と少ない
- (9)英語教師は英語だけでいいのか？
- (10)英語教師のための外国語
- (11)欧米の教養・ラテン語
- (12)世界の言語を紹介する
- (13)英語教師のための日本語文法
- (14)日本情報を英語で？

5 . がんばれ、新人英語教師！

- (1)好き嫌いをしてはいけない
- (2)歴史は繰り返す
- (3)できない生徒の傾向
- (4)予習よりも復習を
- (5)教師の一言は影響が大きい
- (6)言語は道具か
- (7)弟子はいらない
- (8)いっしょに考える

- (9) 教えすぎないために
- (10) おしつけがましい教師は嫌われる
- (11) 教師の「とっておき」
- (12) 裏技はあるのか
- (13) 憎まれないくらいの英語を
- (14) 魅力的な英語教師とは
- (15) 困った英語教師とは
- (16) 少しヘンでも許してくれる？
- (17) がんばれ、新人英語教師！

[コメント]

黒田先生の最新著、「ぼくたちの英語」の目次を書き抜かせていただいた。語学教師としての英語の先生に対するメッセージでこれほど暖かいものはない。

- 2010年9月27日 林 明夫記 -